

Box11ペアタグユニット

取扱説明書1.0.2



本製品は、Box11検知ユニットへ接点出力を送る事で、対象のICタグを受信している間は検知ユニットの警報をキャンセルする装置です。

※本書に掲載されている内容は、2022年7月のものです。本書の内容は製品の仕様も含め、改良のため予告なく変更することがあります。



RFID技術でより良い社会をデザインする

株式会社マトリックス




<https://matrix-inc.co.jp/>

安全上のご注意	3
概要	5
接続	6
エリアID設定	8
仕様	11

安全上のご注意

人への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。






お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。




	気をつけていただく内容です。
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

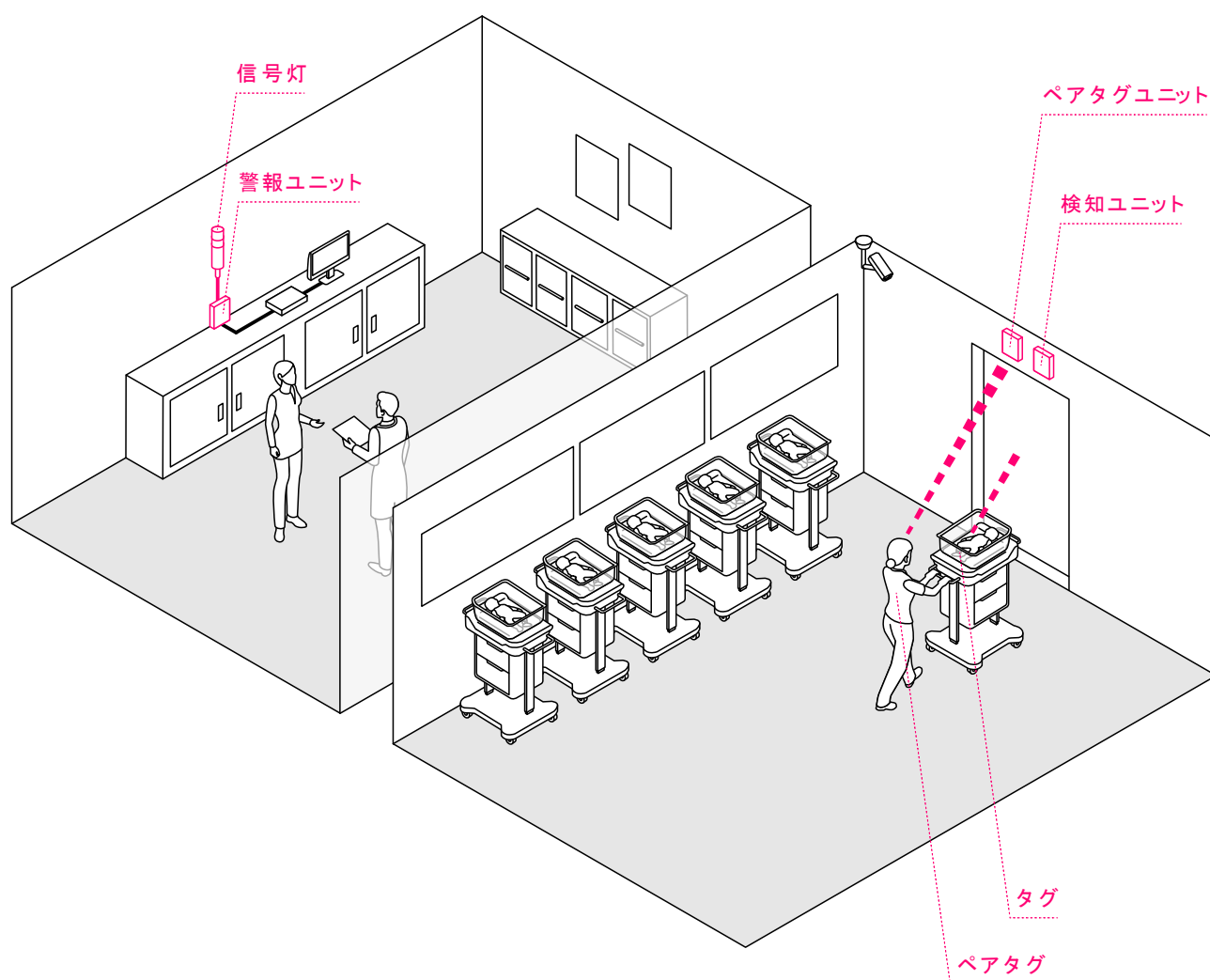
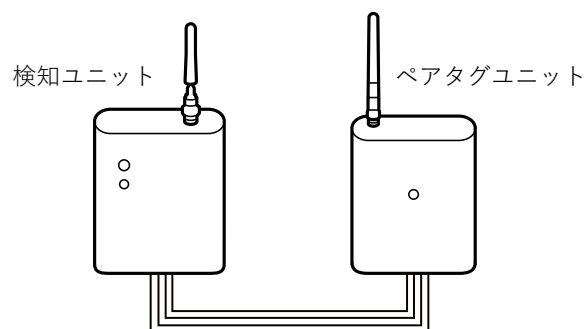
警告	
	本製品を改造・分解しない 本製品内部には電圧の高い部分があり、感電・故障の原因になります。
	激しい衝撃や強い力を加えない 破損・故障の原因になります。
	お子様の手の届く所に保管しない お子様の手の届かない所に設置して事故が起これぬようにしてください。
	異物を入れない 本製品内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	配線器具の定格を超える使い方では使用しない たこ足配線などで、定格を超えて使用すると、火災・感電の原因となります。
	本製品の上に水の入った容器を置かない 本製品内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。万一、入った場合はすぐに電源プラグを抜いてご連絡ください。
	水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しない 火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
	電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない 傷つけたり、加工したり、本製品の下敷きにしたり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理にねじったり曲げたり、引っばったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因になります。
	不安定な場所に置かない ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと倒れたり、落下したりしてケガの原因になります。

警告	
	本製品の上に重いものを置かない 倒れたり、落下して、ケガや破損の原因になることがあります。
	本製品に乗らない 倒れたり、壊れたりして、ケガの原因になることがあります。
	湿気や埃の多い所、油煙や湯気があたる所に置かない 調理台や加湿器のそばに置くと火災・感電の原因になることがあります。
	指定のACアダプタ以外は使用しない 故障・火災・感電の原因になることがあります。
	電源プラグは確実に根元まで差し込む 差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因となります。

注意	
	設置・保管場所を確認する 以下の場所での使用や保管は避けてください。 <ul style="list-style-type: none"> ● 直射日光のあたる場所 ● 高温多湿の場所 ● 落下する可能性のある場所 ● 急激に温度変化する可能性のある場所 ● 振動の激しい場所や埃の多い場所 ● 静電気を帯びやすい場所 腐食性、可燃性のガスが発生する場所
	本製品のお手入れ 乾いた柔らかい布でお手入れを行ってください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってふき取りしてください。また、仕上げに乾いた布で残った水分を取り除いてください。 ※薬品、アルカリ剤、溶剤に触れると劣化または破壊する恐れがあります。
	日常点検及び定期点検を実施する 本製品の機能を常に正常に保つために日常点検及び定期点検を心がけてください。

概要

Box11の検知ユニットと本製品を接続します。赤ちゃんに装着するタグとペアタグをペアにすることで、警報の対象外になります。



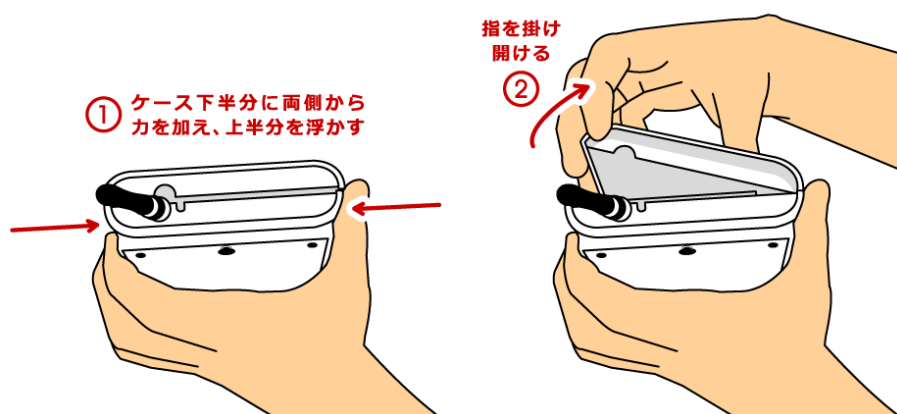
接続

Box11の検知ユニットと本製品を接続します。

【使用線材】VCTF 0.5mm 4芯以上（電源用2本、接点信号用2本）

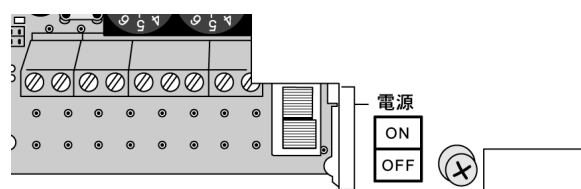
カバーの取り外し

使用する検知ユニット、ペアタグユニット(本製品)のカバーを取り外します。下側のカバーを両サイドから押さえながら、上のカバーを取り外します。

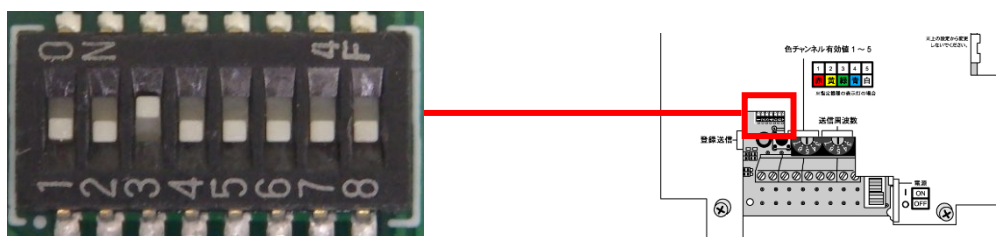


電源スイッチをオフにする

配線、各種設定は必ず使用する検知ユニットの電源をOFFにしてから行ってください。



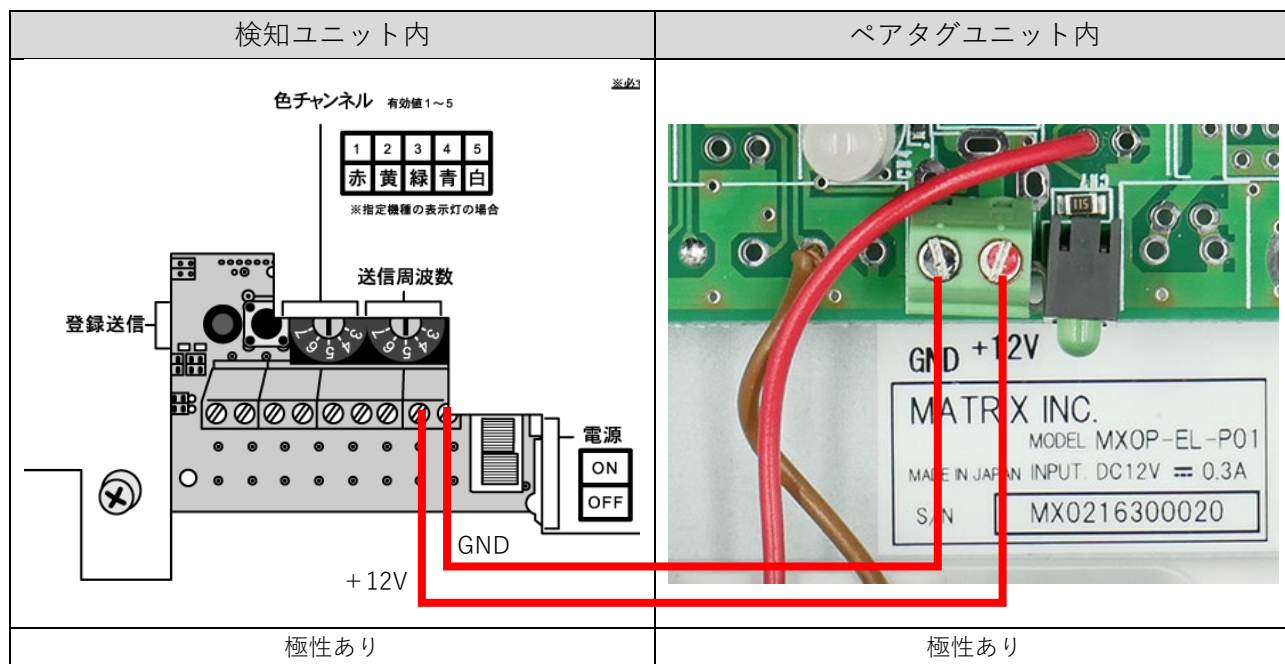
検知ユニットを「センサ連動モード」に変更する



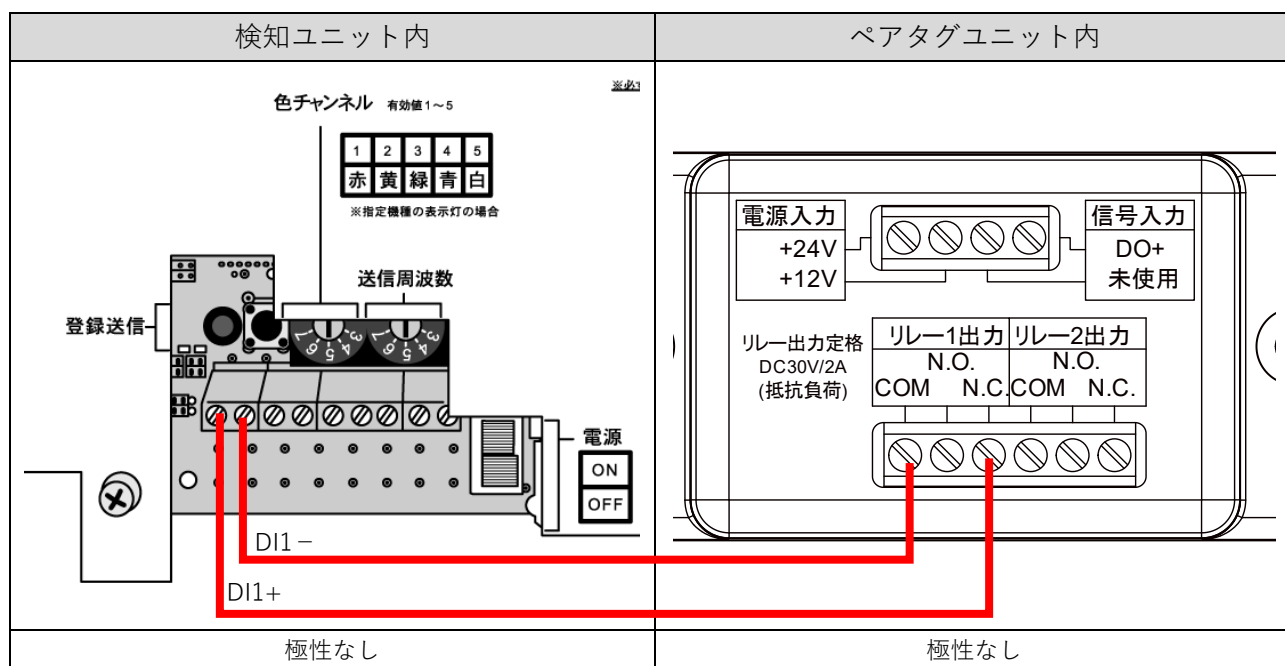
登録送信ボタンの上にあるディップスイッチを、センサ連動モードにします。必ず電源をOFFにして操作してください。

- 3番をON
- 5番をOFF

電源線



接点信号線



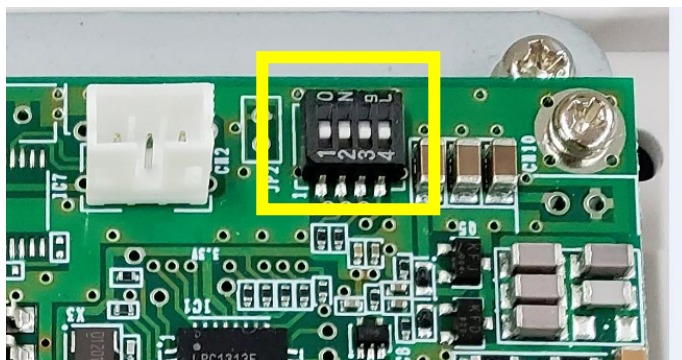
エリアID設定

ペアタグは検知ユニットの磁界に反応して信号を送信します。受信するペアタグユニットに、検知ユニットと同じエリアIDを設定する必要があります。

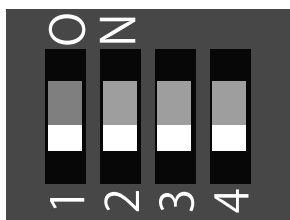
エリアID①から④

ユニット内のディップスイッチで変更することができます。
スイッチの切り替えは精密マイナスインプラーを使用します。

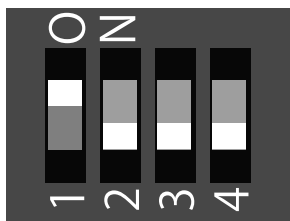
※3と4は変更しないでください



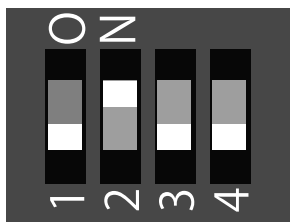
エリアID初期値：①



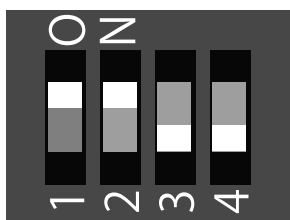
エリアID①



エリアID②



エリアID③

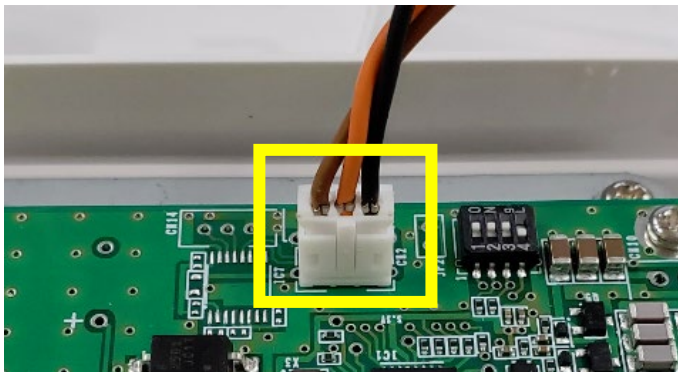


エリアID④

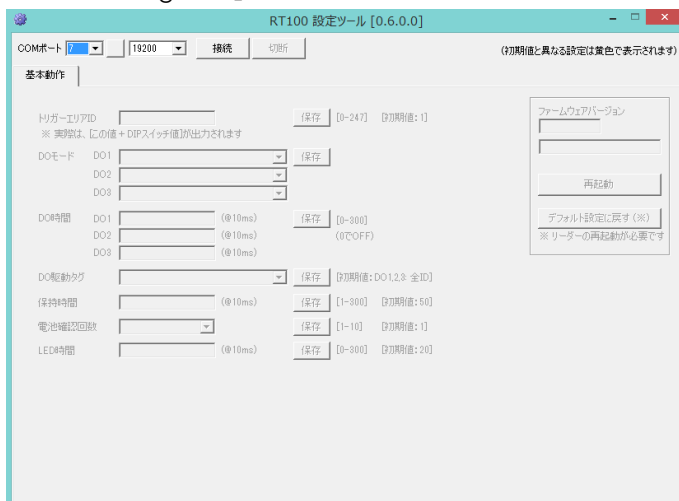
エリアID⑤から⑧

PCと設定変更アプリ(RT100Setting.exe)で変更することができます。

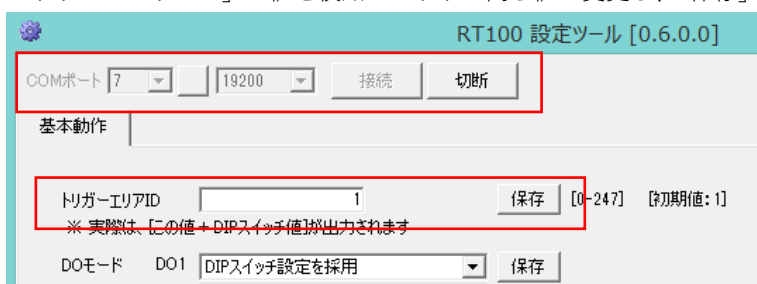
PCに接続した専用の通信ケーブルをユニット内の下記の場所に接続し、電源をいれます。



「RT100Settings.exe」を起動します。

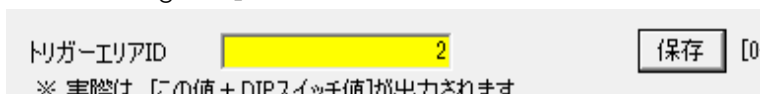


COMポートを設定し、接続ボタンを押します。(接続できない場合は、PCのCOMポート番号を確認して下さい)
「トリガーエリアID」の値を検知ユニットと同じ値に変更し、「保存」ボタンを押します。



下図のように色が変われば設定は完了しています。

「RT100Settings.exe」を終了し、本体を再起動して下さい。



動作確認

1. Box11の検知ユニットと接続し、検知ユニットの電源を入れる。
2. ペアタグユニットの電源LEDの点灯を確認する。
3. 検知ユニットのトリガー磁界内にペアタグを入れて、ペアタグユニットの受信LEDが点灯することを確認する。
4. 続けて検知対象のタグとペアタグを一緒に持ち、トリガー磁界内に入っても警報が鳴らないことを確認する。
5. 検知対象のタグのみでトリガー磁界に入っても警報が鳴ることを確認する。

仕様

型番	MXOP-EL-P01
受信周波数	315MHz帯
電源電圧	DC12V(電源はBox11検知ユニットから供給)
消費電流	300mA以下
過電流保護	有
動作温度範囲	0°C ~ +50°C
動作湿度範囲	10%RH~90%RH (結露しないこと)
ケース材質	ABS樹脂
外形寸法(W×H×D)	140×110×35 (mm) ※突起物は除く
質量	約 236g